

# 桜溪

芳井中  
学校だより  
6月号

紫陽花の花が雨に映える季節となりました。今年は、平年より三日遅く、六月十日が梅雨入りでした。山野の植物にとっては恵みの雨ですが（もちろん、人にとっても）、まとまった雨は、時に大きな災害を引き起こすこともあります。万が一に備えて、ご家庭でも日頃から十分な準備をしておくことが大切です。

また、雨の日は晴れた日に比べて交通事故の発生件数が四倍になるというデータがあります。雨の日の車の運転は、細心の注意を払って行うようにしたいものです。



## 学校再開しました！

五月二十五日（月）の学校再開以降、ようやく落ち着いて学校生活を送ることができるようになってきました。色々な制限（マスクの常用、三密の回避など）が依然としてありますが、それでも生徒たちは毎日笑顔で学校生活を楽しんでるようです。今回の学校だよりでは、最近の行事等の中から、次の①～③の様子についてお伝えします。

- ① 避難訓練（5/28）
- ② 国際ソロプチミスト作文表彰（6/5）
- ③ 生徒総会（6/4）

### ① 避難訓練



机の下で頭部を保護



無言で運動場へ避難

「最後まで気を抜かずにできて良かった」  
これは、今年度一回目の避難訓練が終わった後の、ある生徒の感想です。

今回は、授業中に震度六弱の揺れが発生した場合を想定した訓練でしたが、緊急避難時の鉄則である「お・か・し・も（押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない）」を意識しながら真剣に取り組んでいたことが、この感想から伝わってきました。

また、事前指導で視聴したビデオからは、地震発生メカニズムや、地震の恐ろしさなどに対する理解を深めることができたようでした。

### ② 国際ソロプチミスト作文表彰



昨年度、「国際ソロプチミスト井原」が募集する作文に、本校からは一年生（現二年生）全員が作品を応募しました。

その結果、多数の応募の中から、三名が優秀賞、そして一名が佳良賞に選ばれました。

おめでとう！



### ③ 生徒総会

今年度の生徒会スローガンは、『煌（きらめき）』  
「今、自分にできること」  
です。

最初にこのスローガンを目にした時、郷土の偉人である平柳田中さんの「いまやらねば、いつできる」という言葉が頭の中に浮かんできました。今、この瞬間を大切に、今、自分にできるベストを尽くす。こんな心持ちで中学校の三年間を送ることができれば、きっと素晴らしい未来が目の前に広がることでしょう。

そして、この言葉は「わしがやらねば、だれがやる」と続きます。生徒会とは、生徒一人一人が自分たちの学校生活をより良いものにするために、主体的に取り組むべき自治活動です。「わしがやらねば、・・・」の精神で、全員で芳井中学校を盛り上げていってくださることを期待します。

\*今回の生徒総会は、三密を避けるための手段として、各教室をオンラインで繋いで実施しました。今後は、こうした新しい技術を授業等にも活用できるよう、検討を進めていきます。

